

OPEN:エムスリー QAチームの方へのコメントをお願いします！

一枚目

テスト目的が最初の方にあるのは良いと思いました。何故それらを目的にしたのでしょうか？

ニーズに対する重要度は何を元に付けるのでしょうか。

リスクの影響度を算出するとき、どのような基準(ものさし)を設けたのでしょうか。

ニーズ分析、リスク分析が考慮されてる、いいプロセスを作ってるなあという印象でした。業務の参考にします。

スライドでは一部しか見えてはいませんが、どの分析も油断なく緻密にされているんだなあと思いました！

非機能のなかでもセキュリティ、性能、信頼性を選んだのはどのような意図があったのでしょうか。他の非機能を選ばなかったのはどのような意図があったのでしょうか。

リスク分析やユースケース分析で、テストの優先度のみではなくカバレッジ基準やテストの深さなども導出できそうに思えました。テスト観点で表現されるのでしょうか？

リスク分析を自動テストのみに活かすということでしたら、自動テストに適した分析基準を設けられるといいのかなと思いました。(リグレッションのリスクなど?)

テストタイプを「機能テスト」と「非機能テスト」に分けたのはどのような理由からなのでしょう？テスト実行の都合、要求の重要さなど、説明があるとより深く理解することができたかなと思いました。

発表ありがとうございました。スライド9ページあたりの影響度について少なくとも4段階あるように見えました。どのような段階分けだったのか気になりました。

テストケースとして作成されるものは自動テストのリグレッションテストとユースケーステストのみなのでしょうか？ステークホルダ分析やSWOT分析結果を活かして、もっと多くのテストケースやテストコンテナが作成できそうに思えました。

「経営とユーザー両方に寄り添ったテストである」ということがテストアーキテクチャにあらわれていればよかったのかなと思いました。現状としては「そのような分析フレームワークを使っている」ということしか言えないと思いました。

テスト活動によって営業のしやすさに繋がっていく理由が資料からは読み取れませんでした。特徴的な部分ですので、もっと詳しくお聞きしてみたかったなと感じました。

「顧客の満足度向上に貢献する必要最低限のテストの実施」に繋がる要素はどういったところなのでしょうか？

ご回答ありがとうございました。「テストをする上で最も重要な部分の根拠について多面的に考えることができる」というところがエムスリーさんの強みなのかなとおもいました。

「経営とユーザー両方に寄り添ったようなわかりやすい名前のテストタイプ(テストコンテナ)があると、コンセプトの一貫性が明確になるのかな、と思いました。

※この線はイメージです。

使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。

シートが付箋で沢山になりましたら上の子を下記を押してページを作成してください



"テストアーキテクチャってなんですかね...ステークホルダー分析の結果とテストタイプでマッピングするとかで、導出できそうな気がしますが...

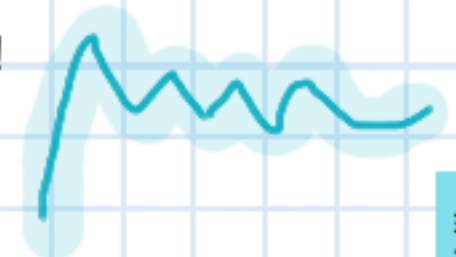
SWOT分析が出てくるのは、さすが事業会社のQAだなあと思いました。

全体像の説明が分かり易かったです。

各スライドに目的が書いてあるので分かり易かったです。

発表ありがとうございました！分析後のテスト設計内容をもっと詳しく聞きたいです！

OPEN:エムスリー QAチームの方へのコメントをお願いします！



※この線はイメージです。

二枚目

自動テストの2つの観点について、重要機能かつ変更が少ない機能に対して自動テストを作成するという意味合いでしょうか？

ステークホルダ分析で導出される機能と、ユースケース分析で導出されるユースケースは記載内容が重なったりしないでしょうか？テストケースに落とす際に、テスト内容の重複がないか気になりました。

「顧客の満足度向上に貢献する必要最低限のテストの実施」が何によって達成されるかが読み取れませんでした。

使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。

シートが付箋で沢山になりましたら上の下記を押してページを作成してください

